

ONWARD

2023年2月期（2022年度）

決算説明資料



2023年4月6日

株式会社 オンワードホールディングス

オンワードグループのミッションステートメント

ホ シ

ヒトと地球に潤いと彩りを





01	連結実績および連結業績予想ハイライト	P. 3
02	2022年度 連結実績	P. 7
03	2023年度 連結業績予想	P.12
04	TOPICS	P.18
05	サステナブル経営	P.25
06	働き方デザイン	P.27
07	財務状況	P.29
08	DATA BOOK	P.33



01

連結実績および連結業績予想ハイライト

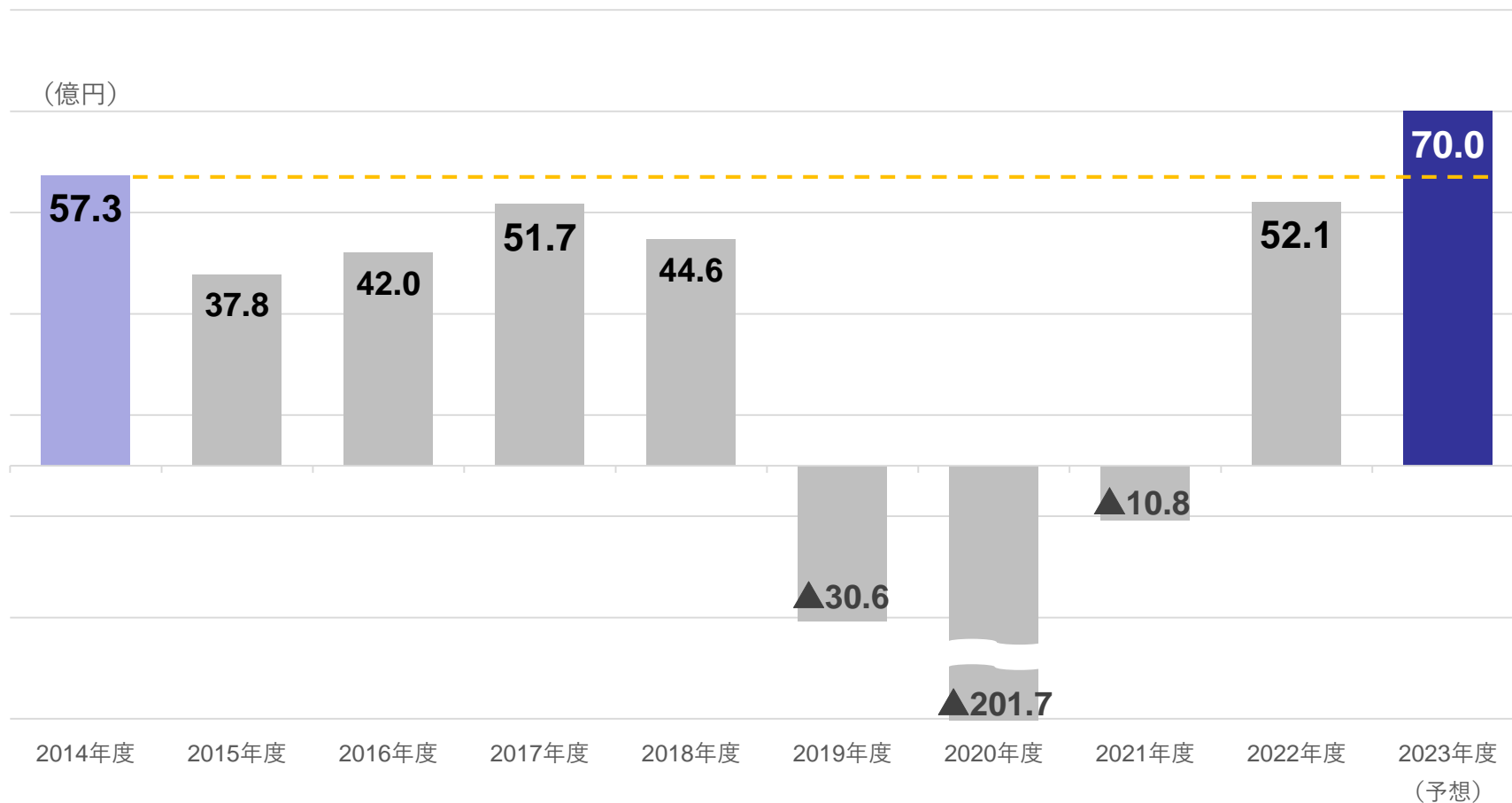


- 2022年度の連結売上高は、オンワード樫山を中心に主力のブランド事業の復調が鮮明になったこと、OMOサービス「クリック&トライ」を導入した店舗の販売が好調に推移したことなどから、前期比76億円増となった。
- グローバル事業構造改革の成果に加え、在庫コントロールの徹底や値引き販売の抑制などにより売上総利益率が向上（52.0%→54.9%）し、販管費率も着実に低下（52.7%→52.0%）した。
- この結果、営業利益を含む全ての利益段階で黒字化を達成した。なお当期純利益は、2021年度に大きな不動産売却益の計上という特殊要因があり、その反動から減益となった。



- 2023年度の連結売上高は、国内アパレル事業、国内ライフスタイル事業および海外事業が、いずれも好調に推移すると見込まれるため、前期比+89億円の1,850億円を予想する。
- 売上高の拡大に加えて、値引き販売の抑制などにより売上総利益率がさらに向上（54.9%→55.4%）し、店舗運営の効率化などにより販管費率も低下（52.0%→51.6%）することが見込まれるため、営業利益は前期比+18億円の70億円、当期純利益は同+9億円の40億円を予想する。
- 以上の結果、2023年度の営業利益は、直近10事業年度（2014年度～2023年度）においての最高益となる見通し。

- 2023年度の営業利益は、直近10事業年度（2014年度～2023年度）の最高益となる見通し。





02

2022年度 連結実績

- 売上高は、前期から76億円増加し、1,761億円に拡大。
- 営業損益は、前期から63億円改善し、52億円の黒字化を達成。
- EBITDAは、前期から65億円増加し、104億円に拡大。

(百万円)	2021年度		2022年度		前期比			
	通期	売上比	通期	売上比	増減額	増減率	売上比増減	
1	売上高	168,453	-	176,072	-	+7,619	+4.5%	-
2	売上総利益	87,612	52.0%	96,751	54.9%	+9,139	+10.4%	+2.9%
3	販管費	88,691	52.7%	91,537	52.0%	+2,846	+3.2%	△0.7%
4	営業利益	△1,079	-	5,214	3.0%	+6,293		
5	経常利益	507	0.3%	5,319	3.0%	+4,812	+949.1%	+2.7%
6	当期純利益	8,566	5.1%	3,061	1.7%	△5,505	△64.3%	△3.4%
7	EBITDA [※]	3,915	2.3%	10,373	5.9%	+6,458	+164.9%	+3.6%

※ EBITDA（営業利益+減価償却費およびのれん償却費）

2022年度 セグメント別売上高・営業利益

- 国内事業は、アパレル事業が増収・営業黒字転換、ライフスタイル事業は増収・増益。
- 海外事業は、イタリア事業の撤退等により減収したものの、損益は改善。

(百万円)			2021年度	2022年度	前期比	
					増減額	増減率
1	アパレル	売上高	120,516	128,672	+8,156	+6.8%
		営業利益	△1,254	5,014	+6,268	↗
2	ライフスタイル	売上高	37,905	38,779	+874	+2.3%
		営業利益	2,598	2,727	+129	+5.0%
3	国内合計	売上高	158,421	167,451	+9,030	+5.7%
		営業利益	1,344	7,741	+6,397	+476.0%
4	アパレル	売上高	17,838	15,254	△2,584	△14.5%
		営業利益	△679	△876	△197	↘
5	ライフスタイル	売上高	1,750	1,996	+246	+14.1%
		営業利益	△814	△214	+600	↗
6	海外合計	売上高	19,588	17,250	△2,338	△11.9%
		営業利益	△1,493	△1,090	+403	↗
7	連結合計	売上高	168,453	176,072	+7,619	+4.5%
		営業利益	△1,079	5,214	+6,293	↗

※ 国内アパレル (オンワード樫山 オンワード商事 アイランド オンワードパーソナルスタイル 他7社 計11社)
 ※ 国内ライフスタイル (チャコット クリエイティブヨーコ 大和 他7社 計10社)
 ※ 海外アパレル (JOSEPHグループ8社 J.PRESS 恩瓦徳時尚貿易 他8社 計18社)
 ※ 海外ライフスタイル (フリードオブロンドン 他3社 計4社)
 ※ セグメントの内訳は各社の単純合算 連結合計には相殺消去含む

2022年度 事業会社別売上高・営業利益

- 売上高は、オンワード樫山の増収(+97億円)等が寄与し、76億円の増収。
- 営業利益は、オンワード樫山の増益(+64億円)等が寄与し、黒字転換を達成。

(百万円)			2021年度	2022年度	前期比	
					増減額	増減率
1	オンワード樫山+HD	売上高	91,395	101,109	+9,714	+10.6%
		営業利益	△ 1,857	4,524	+6,381	↗
2	オンワード商事	売上高	14,760	13,650	△ 1,110	△ 7.5%
		営業利益	1,788	1,021	△ 767	△ 42.9%
3	アイランド	売上高	5,753	6,285	+532	+9.2%
		営業利益	△ 124	80	+204	↗
4	チャコット	売上高	8,311	8,849	+538	+6.5%
		営業利益	332	342	+10	+3.0%
5	クリエイティブヨーコ	売上高	5,194	5,801	+607	+11.7%
		営業利益	319	419	+100	+31.3%
6	大和	売上高	20,326	20,629	+303	+1.5%
		営業利益	1,280	1,489	+209	+16.3%
7	国内グループ小計 (オンワード樫山+HD除く)	売上高	67,026	66,342	△ 684	△ 1.0%
		営業利益	3,201	3,217	+16	+0.5%
8	ヨーロッパ計	売上高	13,182	9,960	△ 3,222	△ 24.4%
		営業利益	△ 156	△ 136	+20	↗
9	アメリカ計	売上高	1,202	1,636	+434	+36.1%
		営業利益	△ 1,155	△ 576	+579	↗
10	アジア計	売上高	5,204	5,654	+450	+8.6%
		営業利益	△ 182	△ 378	△ 196	↘
11	海外グループ小計	売上高	19,588	17,250	△ 2,338	△ 11.9%
		営業利益	△ 1,493	△ 1,090	+403	↗
12	連結合計	売上高	168,453	176,072	+7,619	+4.5%
		営業利益	△ 1,079	5,214	+6,293	↗

※ グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

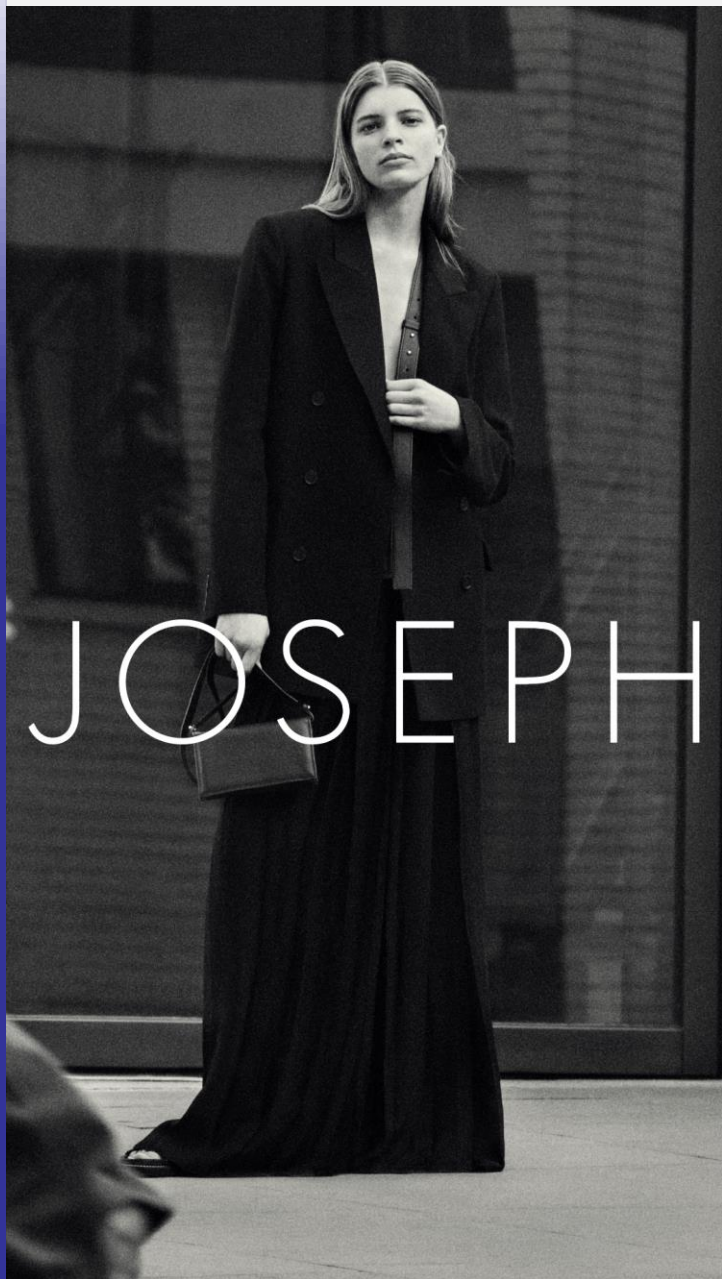
2022年度 販路別売上高

- リアル販路(百貨店+SCその他)は、8.4%増収。
- ECは、9.5%増収。EC化率は30.0%、自社EC比率は85.9%と高水準を維持。

(百万円)		百貨店	SCその他	リアル販路計	自社EC	他社ECモール	EC計	売上高計	EC化率	自社EC比率
1	オンワード樫山	39,832	32,404	72,236	25,175	3,698	28,873	101,109	28.6%	87.2%
2	売上構成比	39.4%	32.0%	71.4%	24.9%	3.7%	28.6%	100.0%		
3	前年同期比	+17.9%	+6.0%	+12.3%	+4.5%	+24.9%	+6.8%	+10.6%	△1.0%	△1.9%
4	国内EC対象事業会社8社 [※]	9,797	22,604	32,401	13,320	2,605	15,925	48,326	33.0%	83.6%
5	国内EC対象事業会社計	49,629	55,008	104,637	38,495	6,303	44,798	149,435	30.0%	85.9%
6	売上構成比	33.2%	36.8%	70.0%	25.8%	4.2%	30.0%	100.0%		
7	前年同期比	+16.4%	+2.1%	+8.4%	+8.8%	+14.1%	+9.5%	+8.7%	+0.2%	△0.6%

※ Eコマースを運営している以下国内事業会社8社の合計

(アイランド、ティアクラスセ、オンワードパーソナルスタイル、チャコット、クリエイティブヨーコ、大和、インティメイツ、KOKOBUY)



03

2023年度 連結業績予想

2023年度 連結業績予想

- 売上総利益率は、2022年度比0.5%向上し、55.4%と予想。
- 販管費率は、2022年度比0.4%低下し、51.6%と予想。
- EBITDAは、2022年度から17億円増加し、121億円と予想。

(百万円)	2022年度		2023年度		前期比			
	通期	売上比	通期	売上比	増減額	増減率	売上比増減	
1	売上高	176,072	-	185,000	-	+ 8,928	+5.1%	-
2	売上総利益	96,751	54.9%	102,400	55.4%	+ 5,649	+5.8%	+0.5%
3	販管費	91,537	52.0%	95,400	51.6%	+ 3,863	+4.2%	△0.4%
4	営業利益	5,214	3.0%	7,000	3.8%	+ 1,786	+34.3%	+0.8%
5	経常利益	5,319	3.0%	6,300	3.4%	+ 981	+18.4%	+0.4%
6	当期純利益	3,061	1.7%	4,000	2.2%	+939	+30.7%	+0.5%
7	EBITDA※	10,373	5.9%	12,100	6.5%	+1,727	+16.6%	+0.6%

※ EBITDA (営業利益+減価償却費およびのれん償却費)

2023年度 セグメント別売上高・営業利益予想

- 国内事業は、アパレル事業が4.9%増収、36.1%営業増益の予想。ライフスタイル事業は7.0%増収、8.3%営業増益を予想。
- 海外事業は、8.0%増収、7億円の営業損益改善を予想。

			2022年度	2023年度	前期比	
					増減額	増減率
(百万円)						
1	アパレル	売上高	128,672	134,967	+6,295	+4.9%
		営業利益	5,014	6,824	+1,810	+36.1%
2	ライフスタイル	売上高	38,779	41,501	+2,722	+7.0%
		営業利益	2,727	2,952	+225	+8.3%
3	国内合計	売上高	167,451	176,468	+9,017	+5.4%
		営業利益	7,741	9,776	+2,035	+26.3%
4	海外合計	売上高	17,250	18,631	+1,381	+8.0%
		営業利益	△ 1,090	△ 382	+708	
5	連結合計	売上高	176,072	185,000	+8,928	+5.1%
		営業利益	5,214	7,000	+1,786	+34.3%

※ 国内アパレル (オンワード樫山 オンワード商事 アイランド オンワードパーソナルスタイル 他7社 計11社)

※ 国内ライフスタイル (チャコット クリエイティブヨーコ 大和 他7社 計10社)

※ 海外 (JOSEPHグループ8社 J.PRESS 恩瓦徳時尚貿易 他12社 計22社)

※ セグメントの内訳は各社の単純合算 連結合計には相殺消去含む

2023年度 事業会社別売上高・営業利益予想

- 海外事業は、全体としては赤字が残るものの、ジョゼフグループの黒字化により、ヨーロッパ事業が黒字転換する見通し。

(百万円)			2022年度	2023年度	前期比	
					増減額	増減率
1	オンワード樫山+HD	売上高	101,109	105,179	+4,070	+4.0%
		営業利益	4,524	4,961	+437	+9.7%
2	オンワード商事	売上高	13,650	14,676	+1,026	+7.5%
		営業利益	1,021	1,137	+116	+11.4%
3	アイランド	売上高	6,285	6,565	+280	+4.5%
		営業利益	80	207	+127	+158.8%
4	チャコット	売上高	8,849	9,410	+561	+6.3%
		営業利益	342	435	+93	+27.2%
5	クリエイティブヨーコ	売上高	5,801	6,028	+227	+3.9%
		営業利益	419	476	+57	+13.6%
6	大和	売上高	20,629	21,721	+1,092	+5.3%
		営業利益	1,489	1,650	+161	+10.8%
7	国内グループ小計 (オンワード樫山+HD除く)	売上高	66,342	71,289	+4,947	+7.5%
		営業利益	3,217	4,815	+1,598	+49.7%
8	ヨーロッパ計	売上高	9,960	10,476	+516	+5.2%
		営業利益	△ 136	97	+233	↗
9	アメリカ計	売上高	1,636	1,459	△ 177	△ 10.8%
		営業利益	△ 576	△ 237	+339	↗
10	アジア計	売上高	5,654	6,696	+1,042	+18.4%
		営業利益	△ 378	△ 242	+136	↗
11	海外グループ小計	売上高	17,250	18,631	+1,381	+8.0%
		営業利益	△ 1,090	△ 382	+708	↗
12	連結合計	売上高	176,072	185,000	+8,928	+5.1%
		営業利益	5,214	7,000	+1,786	+34.3%

※ グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

- 株主還元を強化するとの方針のもと、2023年度の期末配当（2024年5月予定）は、**2円増配の14円**を計画。

■ 配当方針

株主の皆様への利益還元を経営の最重要施策の一つと位置づけ、配当性向の目安を35%以上とし、安定的で業績に連動した適正な利益配分を実施。

■ 配当の状況

	2022年度	2023年度(予想)
一株あたり配当金	12円	14円
配当総額	1,628百万	1,900百万
当期純利益	3,061百万	4,000百万
配当性向	53.2%	47.5%

- 経営資源としての人財の重要性が益々高まっていることに鑑み、2023年度は給与の改善を進めるとともに、ショップマイスター制度を新設。

■ 給与の改善

2023年度の給与改善率は、前年度比**6.7%増**を計画。

■ ショップマイスター制度の新設

60歳定年を迎えたスキルの高い販売人財が、『ショップマイスター』として、長期にわたって適切な待遇で働き続けられる仕組みを新設。



04

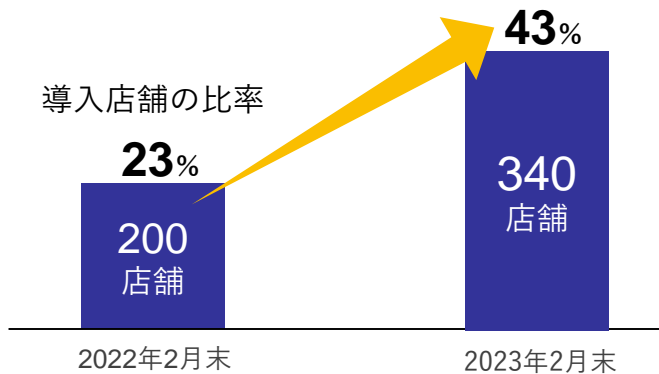
TOPICS

1. OMO戦略
2. アパレル事業
3. ライフスタイル事業

1. OMO戦略

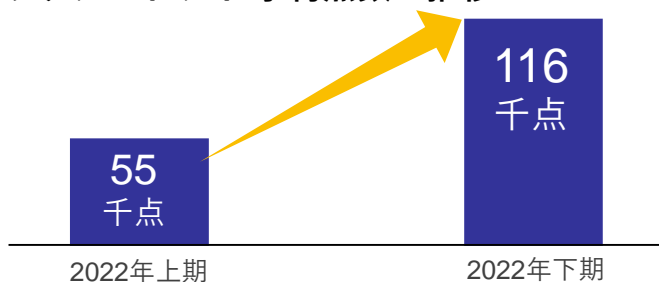
- オンワード樫山のOMOサービス「クリック&トライ」導入店舗数が**340店舗**に増加。
- 「クリック&トライ」での予約点数は、上期の**55千点**から下期は**116千点**に倍増、通期では**171千点**。
- 導入店舗(既存)の売上高は2019年度の水準に回復。未導入店舗の81%を**19ポイント**上回る。

■ クリック&トライ導入店舗数の推移



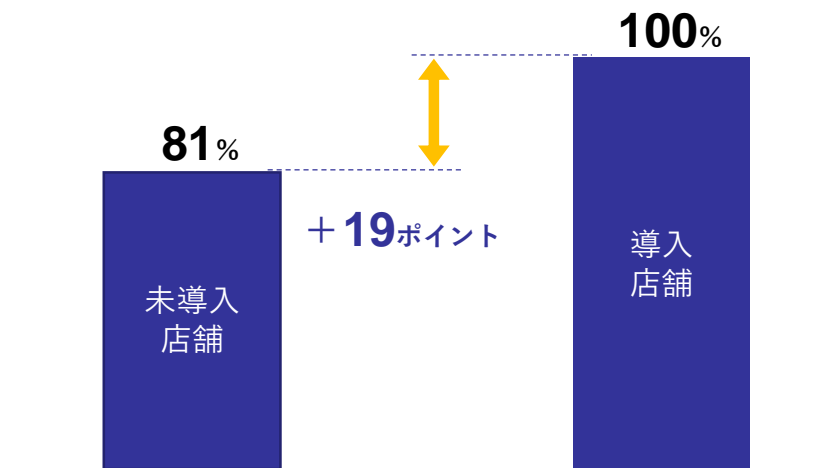
- ☑ オンワード樫山の4割超の店舗へ導入済み。今後更に導入拡大予定

■ クリック&トライ 予約点数の推移



- ☑ 「クリック&トライ」の利用は下期に急増
下期は上期から倍増し、通期では171千点の予約実績

■ 売上高：2022年度対2019年度の比較



- ☑ 「クリック&トライ」導入により売上高を大きく押し上げ

23区 【オンワード樫山】

- オンワード樫山における最大のブランド『23区』の売上高が大きく伸長し、ブランド事業の復調を牽引。既存店売上高は+34.8%。
- 通勤・外出需要を捉えた商品の拡充による顧客単価上昇。
- 「クリック&トライ」導入拡大による販売機会の増加。

通期売上高
(前期比)

+23.4%

23区



自由区 【オンワード樫山】

- 百貨店を中心にリアル店舗が売上拡大を牽引。既存店売上高は+35.1%。
- 上質感のある商品数を増やしたことによる顧客単価の上昇が増収に寄与。



通期売上高
(前期比)

+13.3%

自由区

ICB 【オンワード樫山】

- リアル店舗の増収と共にECページの拡充により予約売上が拡大。既存店売上高は+31.9%
- 展開型数、バリエーション拡大路線に移行した成果で売上高が安定。



通期売上高
(前期比)

+14.2%

ICB

UNFILO 【オンワード樫山】

- ロングセラーのヒット商品（最愛ジョグパン、ジョーゼットジレ等）の誕生により売上高が大幅増。2022年秋冬よりメンズ・ユニセックスラインを本格稼働。
- 環境に配慮し、可能な限り再生素材を採用した高機能サステナブルシューズ『steppi by UNFILO』は2022年度のグッドデザイン賞を受賞。



通期売上高
(前期比)

+96.3%

UNFILO

uncrave 【オンワード樫山】

- Eコマースを主販路に、POPUP展開とSNSにより顧客接点を拡大するD2Cブランドの『アंकレイヴ』は、素材感にこだわったセットアップ商品に加え、ニットやカットソー、ブラウスなどが好調。
- インフルエンサーによるSNS拡散でフォロワー数が大幅に増加。2022年度からはホールセールの受注も好調。



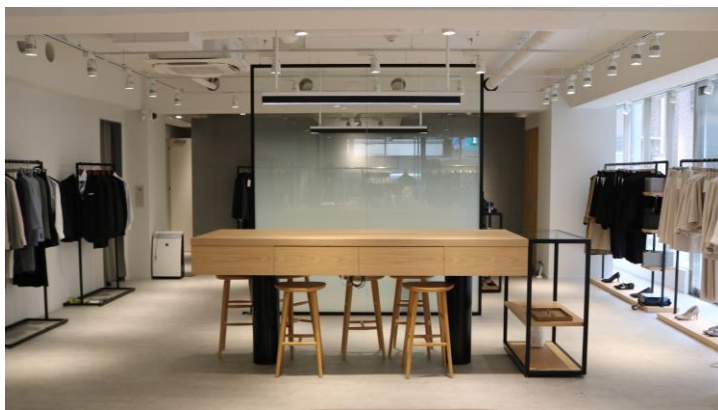
通期売上高
(前期比)

+17.0%

uncrave

KASHIYAMA 【オンワードパーソナルスタイル】

- 直営店舗の売上高が2021年度比17%増加。直営店舗に加えFC店舗展開も加速。
- 下期に発売したフォーマルが好調に推移。黒の中でもより濃く見える濃染加工の生地をリーズナブルな価格でラインナップ。
- KASHIYAMA吉祥寺店を、セレクトショップやカフェなどが集まるエリアに移転リニューアルオープン（2023年4月1日）。訪れるビジネスパーソンや学生など、幅広い層のお客様に向けて、ブランドの世界観を発信する都内最大級の店舗。



KASHIYAMA吉祥寺店



KASHIYAMA

通期売上高
(前期比)

+ 14.4%

チャコット



- 主力のバレエ、フィットネスおよび『Chacott COSMETICS』の売上高は、2019年度と同水準まで回復。
- 身体と心を芯から美しく整えるバランスウェア
『Chacott BALANCE』の売上高は、2019年度比38%増と高成長。
- 舞台、コンクール仕様のチャコット製のバレエ衣装を纏い、メイクアップアーティストによる本格的なバレエメイクと、プロフェッショナルなフォトグラファーが撮影するフォトアートサービス『Photo Shooting』を、2023年3月にリニューアルスタート。



通期売上高
(前年同期比)

+6.5%

Chacott

クリエイティブヨーコ

- ペット事業は売上高が2021年度比14%増、しろたん事業は8%増と好調。リアル店舗の出店施策が奏功。
- 2023年1月、オリジナルキャラクター『しろたん』の専門店『しろたんフレンズパーク』を羽田エアポートガーデンにオープン。
- 2023年2月、ペットファッション、ペット用品の専門店『PET PARADISE』を原宿竹下通りにオープン。

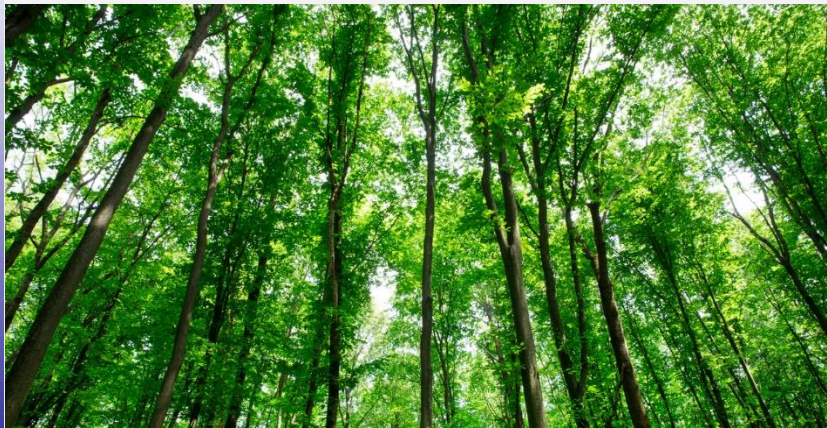


通期売上高
(前期比)

+ 11.7%

CREATIVE YOKO CO., LTD.
www.creativeyoko.co.jp





05



サステナブル経営

— オンワードホールディングス / オンワード樫山

- 進化したサステナブル経営を推進するプロジェクト『Green Onward (グリーン・オンワード)』を始動。



ロゴに込めた思い

Greenの頭文字「G」を回転する矢印にデフォルメし、Onwardの「O」と重なり合ったとき「無限の循環」をイメージ。オンワードグループのサステナブル経営への前向きな姿勢と未来性を表現。

『Green Onward』の概要

- これまでの「オンワード・グリーン・キャンペーン」においては、回収した衣料品は毛布や軍手、固形燃料にリサイクル。
- これからは、不要になった衣料品を活かして新たな価値を創造する『Upcycle Action (アップサイクル・アクション)』をスタート。
- 第一弾として、オンワード樫山において、「オンワード・グリーン・キャンペーン」を質と量の両面で進化させた、『アップサイクル・アクション』を展開。



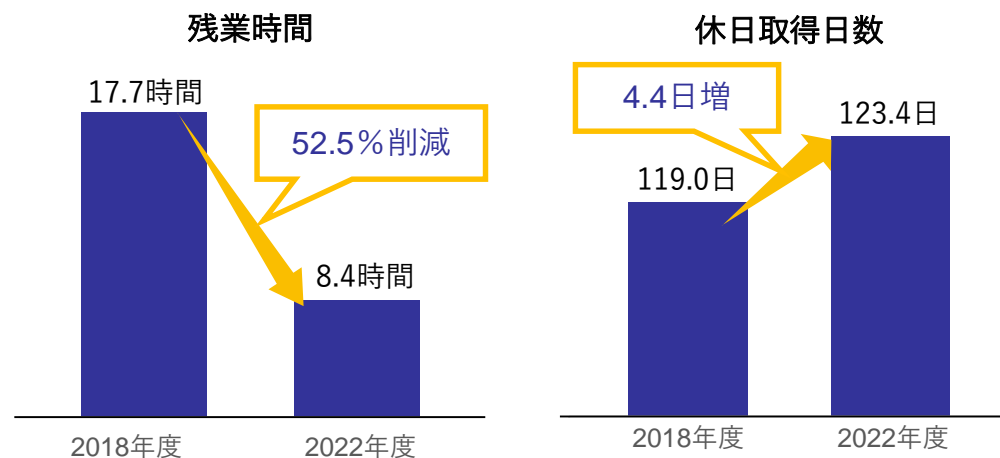
06



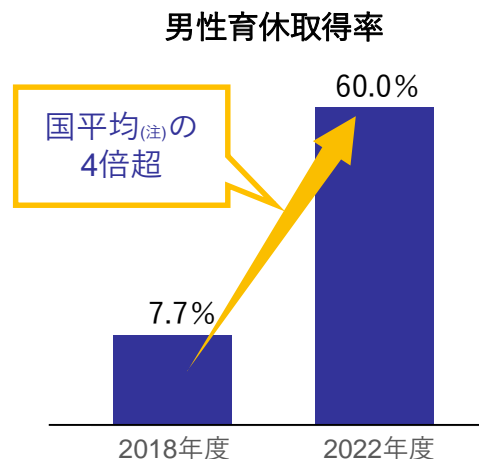
働き方デザイン

- 業務効率化とワーク・ライフバランスの実現により生産性を向上することを目的に、働き方改革プロジェクト「働き方デザイン」を推進。

- 自分たちがより良い働き方をするために何をすべきかを考える、通称「カエル会議」を中心に活動を推進し、2022年度の1ヶ月の平均残業時間は2018年度比52.5%減、年間の休日取得日数は4.4日増加を実現。



- さらに育児休業取得促進のための研修や「仕事と育児の両立支援ガイドブック」の制定等を行い、男性育休取得率は国平均の4倍超となる60%を達成。



「働き方デザイン」がスタートする前年度(2018年度)と2022年度の比較。

(注) 2021年度の国平均「男性育休取得率」は13.97%。



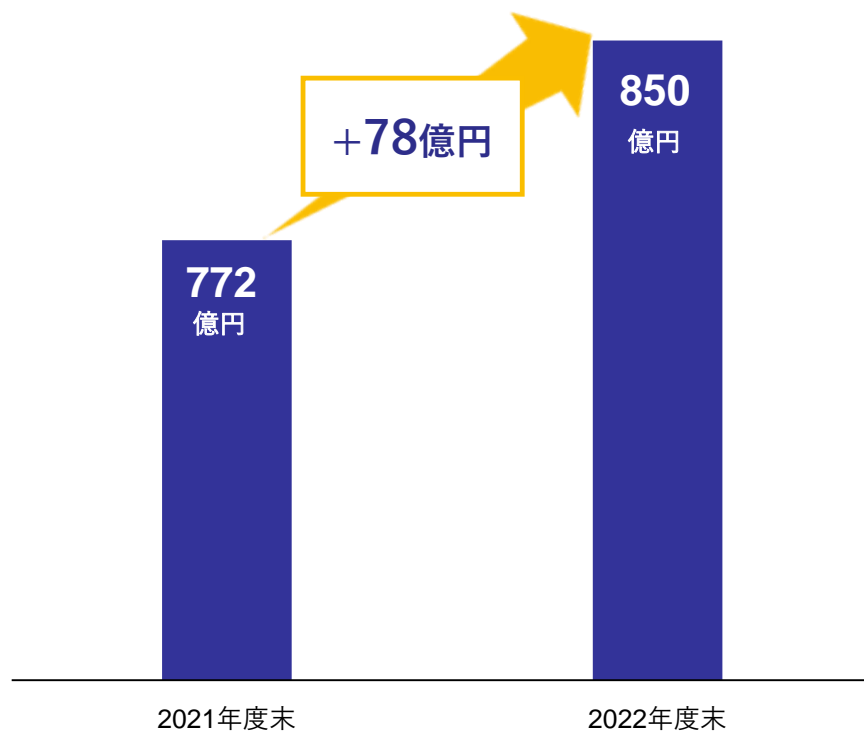
Mountain 2023 S/S

07

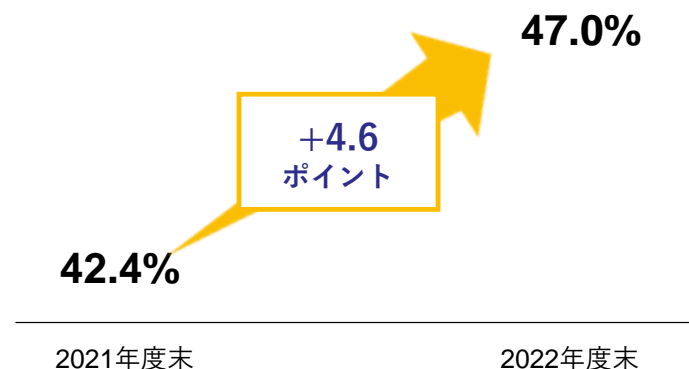
財務狀況

- 純資産は、2021年度末比78億円増加し850億円。
- 自己資本比率は、2021年度末比4.6ポイント上昇し47.0%。
- 流動比率は、2021年度末比8.7ポイント上昇し117.2%となり、経営の安全性がさらに向上。

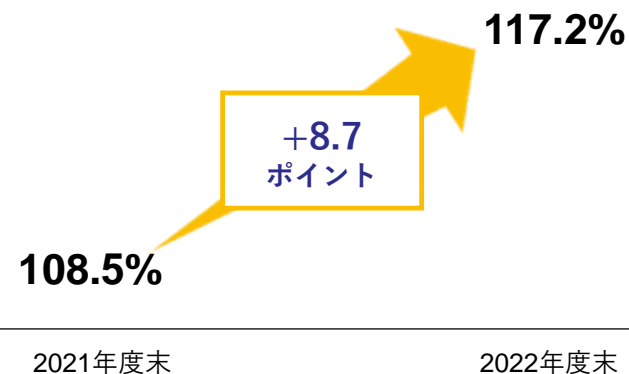
■ 純資産



■ 自己資本比率

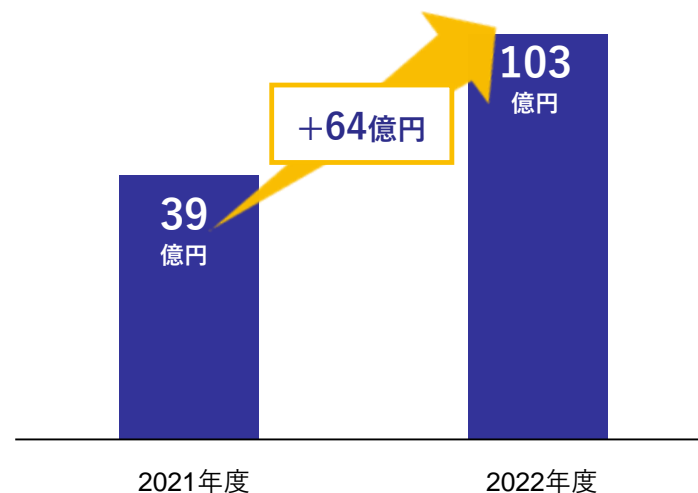


■ 流動比率



EBITDA

- EBITDAは、2021年度比64億円増の103億円に大幅拡大。

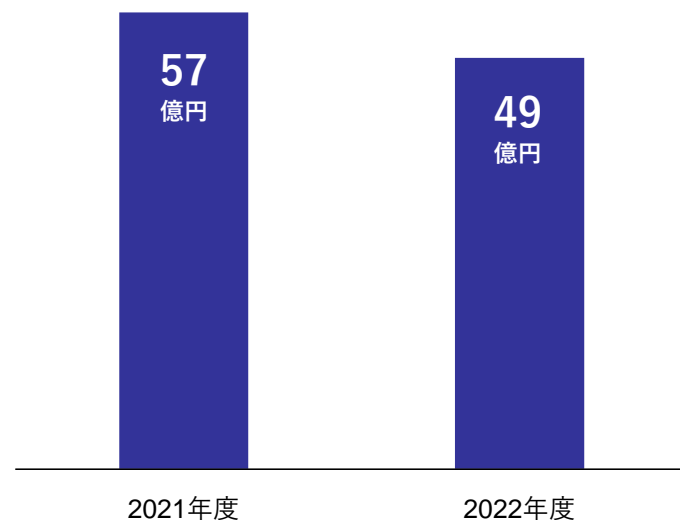


キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、営業損益が黒字化したことに伴い56億円。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、グアムのホテル事業売却により43億円。
- フリーキャッシュ・フロー（営業キャッシュ・フロー+投資キャッシュ・フロー）は100億円。

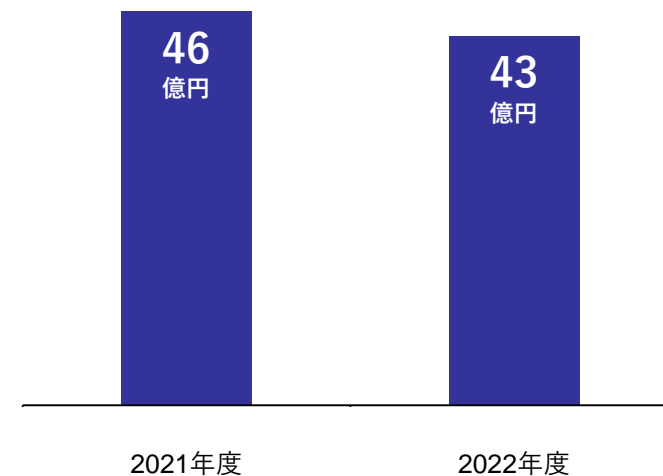
■ 設備投資

- 設備投資額は、2021年度から8億円減少の49億円。
- 大連などの工場設備投資が2021年度で一巡。
- 2022年度は、DX関連やOMO関連など投資を厳選し、効率的に実施。



■ 減価償却費

- 減価償却費は、2021年度から3億円減少の43億円。





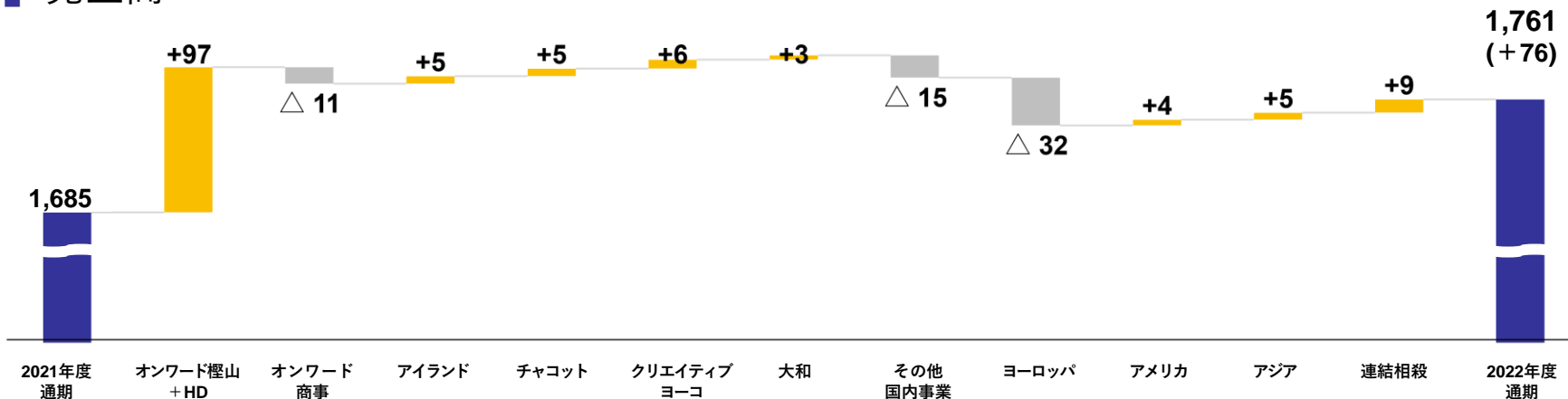
08

DATA BOOK

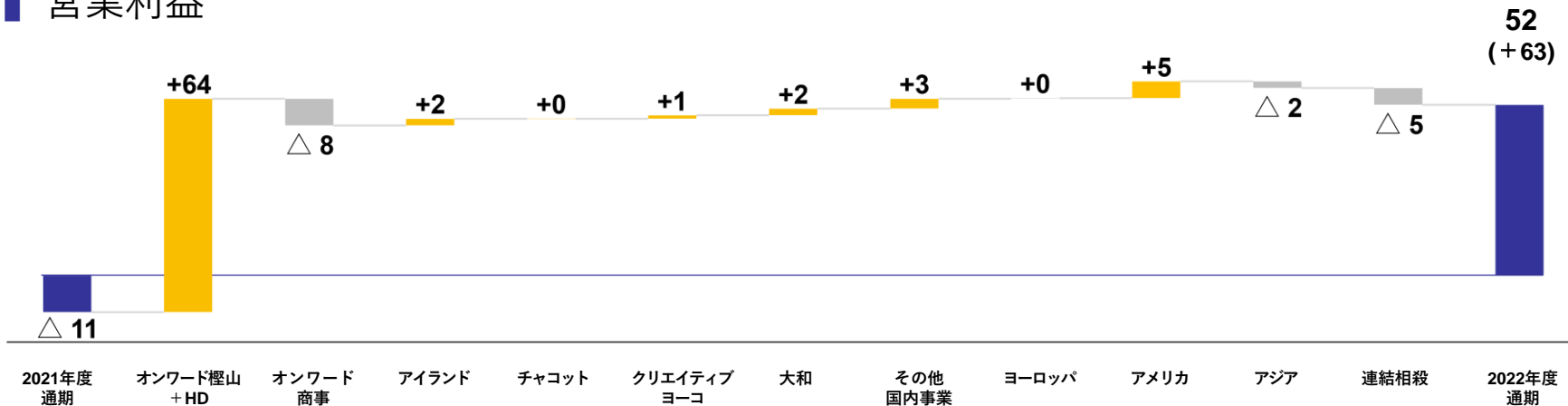
2022年度 通期 事業会社別売上高・営業利益増減

(億円)

売上高



営業利益



2022年度 通期 連結 販管費/営業外損益・特別損益の内訳

(百万円)	2021年度	2022年度	前期比 (増減率)
1 人件費	35,312	35,036	△0.8%
2 賃借料	23,277	24,499	+5.3%
3 運賃運搬費	6,195	6,238	+0.7%
4 広告宣伝費	4,778	5,505	+15.2%
5 減価償却費	3,461	3,595	+3.9%
6 その他	15,668	16,664	+6.4%
7 販管費計	88,691	91,537	+3.2%
8 特別損失振替額	1,620	5	△99.7%
9 (参考) 実質販管費	90,311	91,542	+1.4%

(百万円)	2021年度	2022年度	前期比 (増減率)
10 営業外収益	3,423	1,380	△59.7%
11 受取利息・配当金	1,392	233	△83.3%
12 為替差益	99	789	+697.0%
13 助成金収入	1,013	134	△86.8%
14 その他	917	220	△76.0%
15 営業外費用	1,836	1,274	△30.6%
16 支払利息	391	363	△7.2%
17 持分法による投資損失	73	46	△37.0%
18 その他	1,370	863	△37.0%
19 営業外損益計	1,587	106	△93.3%
20 特別利益	21,327	1,878	△91.2%
21 固定資産売却益	17,921	21	△99.9%
22 投資有価証券売却益	105	527	+401.9%
23 関係会社株式売却益	2,944	1,300	△55.8%
24 その他	356	29	△91.9%
25 特別損失	7,921	3,388	△57.2%
26 臨時休業等による損失	1,620	5	△99.7%
27 関係会社株式売却損	1,829	-	-
28 関係会社整理損	1,968	-	-
29 減損損失	1,741	2,906	+66.9%
30 その他	761	475	△37.6%
31 特別損益	13,406	△1,510	-

2022年度末 連結貸借対照表

(億円)	2021年度末	2022年度末	増減	増減要因
1 資産合計	1,577	1,591	+14	
2 流動資産	605	622	+17	
3 現金及び預金	152	138	△14	
4 売掛金	142	139	△3	
5 棚卸資産	268	307	+39	売上高拡大に向けた仕入増加
6 固定資産	972	969	△3	
7 有形固定資産	580	531	△49	グアムのホテル売却
8 無形固定資産	93	91	△2	
9 投資その他の資産	298	347	+49	評価替えに伴う投資有価証券の増加
10 負債合計	804	741	△63	
11 買掛金	182	214	+32	売上高拡大に向けた仕入増加
12 借入金	351	272	△79	借入金の返済
13 その他	271	255	△16	
14 純資産合計	772	850	+78	
15 自己資本比率	42.4%	47.0%	+4.6%	
16 流動比率	108.5%	117.2%	+8.7%	

2023年度 連結業績予想

(百万円)	上期予想				下期予想				通期予想			
	2022年度	2023年度	増減額	増減率	2022年度	2023年度	増減額	増減率	2022年度	2023年度	増減額	増減率
1 売上高	82,166	86,200	+4,034	+4.9%	93,906	98,800	+4,894	+5.2%	176,072	185,000	+8,928	+5.1%
2 売上総利益	44,735	47,600	+2,865	+6.4%	52,016	54,800	+2,784	+5.4%	96,751	102,400	+5,649	+5.8%
(売上比)	(54.4%)	(55.2%)		(+0.8%)	(55.4%)	(55.5%)		(△ 0.1%)	(54.9%)	(55.4%)		(+0.5%)
3 販管費	44,542	46,600	+2,058	+4.6%	46,995	48,800	+1,805	+3.8%	91,537	95,400	+3,863	+4.2%
(売上比)	(54.2%)	(54.1%)		(△ 0.1%)	(50.0%)	(49.4%)		(△ 0.6%)	(52.0%)	(51.6%)		(△ 0.4%)
4 営業利益	193	1,000	+807	+418.1%	5,021	6,000	+979	+19.5%	5,214	7,000	+1,786	+34.3%
(売上比)	(0.2%)	(1.2%)		(+1.0%)	(5.3%)	(6.1%)		(+0.8%)	(3.0%)	(3.8%)		(+0.8%)
5 経常利益	654	700	+46	+7.0%	4,665	5,600	+935	+20.0%	5,319	6,300	+981	+18.4%
6 当期純利益	476	1,400	+924	+194.1%	2,585	2,600	+15	+0.6%	3,061	4,000	+939	+30.7%
7 EBITDA [※]	2,838	3,600	+762	+26.8%	7,535	8,500	+965	+12.8%	10,373	12,100	+1,727	+16.6%

※ EBITDA (営業利益+減価償却費およびのれん償却費)

2023年度 セグメント別売上高・営業利益予想

(百万円)		上期予想				下期予想				通期予想				
		2022年度	2023年度	増減額	増減率	2022年度	2023年度	増減額	増減率	2022年度	2023年度	増減額	増減率	
1	アパレル	売上高	59,704	63,086	+3,382	+5.7%	68,968	71,881	+2,913	+4.2%	128,672	134,967	+6,295	+4.9%
		営業利益	484	1,179	+695	+143.6%	4,530	5,645	+1,115	+24.6%	5,014	6,824	+1,810	+36.1%
2	ライフスタイル	売上高	19,155	20,267	+1,112	+5.8%	19,624	21,234	+1,610	+8.2%	38,779	41,501	+2,722	+7.0%
		営業利益	1,484	1,645	+161	+10.8%	1,243	1,307	+64	+5.1%	2,727	2,952	+225	+8.3%
3	国内合計	売上高	78,859	83,353	+4,494	+5.7%	88,592	93,115	+4,523	+5.1%	167,451	176,468	+9,017	+5.4%
		営業利益	1,968	2,824	+856	+43.5%	5,773	6,952	+1,179	+20.4%	7,741	9,776	+2,035	+26.3%
4	海外合計	売上高	7,733	7,886	+153	+2.0%	9,517	10,745	+1,228	+12.9%	17,250	18,631	+1,381	+8.0%
		営業利益	△ 1,132	△ 810	+322	↗	42	428	+386	+919.0%	△ 1,090	△ 382	+708	↗
5	連結合計	売上高	82,166	86,200	+4,034	+4.9%	93,906	98,800	+4,894	+5.2%	176,072	185,000	+8,928	+5.1%
		営業利益	193	1,000	+807	+418.1%	5,021	6,000	+979	+19.5%	5,214	7,000	+1,786	+34.3%

※ 国内アパレル (オンワード樫山 オンワード商事 アイランド オンワードパーソナルスタイル 他7社 計11社)

※ 国内ライフスタイル (チャコット クリエイティブヨーコ 大和 他6社 計9社)

※ 海外 (JOSEPHグループ8社 J.PRESS 恩瓦徳時尚貿易 他12社 計22社)

※ セグメントの内訳は各社の単純合算 連結合計には相殺消去含む

2023年度 事業会社別売上高・営業利益予想

(百万円)		上期予想				下期予想				通期予想				
		2022年度	2023年度	増減額	増減率	2022年度	2023年度	増減額	増減率	2022年度	2023年度	増減額	増減率	
1	オンワード樫山+HD	売上高	46,055	48,740	+2,685	+5.8%	55,054	56,439	+1,385	+2.5%	101,109	105,179	+4,070	+4.0%
		営業利益	332	475	+143	+43.1%	4,192	4,486	+294	+7.0%	4,524	4,961	+437	+9.7%
2	オンワード商事	売上高	6,865	6,935	+70	+1.0%	6,785	7,741	+956	+14.1%	13,650	14,676	+1,026	+7.5%
		営業利益	523	537	+14	+2.7%	498	600	+102	+20.5%	1,021	1,137	+116	+11.4%
3	アイランド	売上高	2,970	3,171	+201	+6.8%	3,315	3,394	+79	+2.4%	6,285	6,565	+280	+4.5%
		営業利益	22	89	+67	+304.5%	58	118	+60	+103.4%	80	207	+127	+158.8%
4	チャコット	売上高	4,714	4,913	+199	+4.2%	4,135	4,497	+362	+8.8%	8,849	9,410	+561	+6.3%
		営業利益	342	392	+50	+14.6%	0	43	+43	↗	342	435	+93	+27.2%
5	クリエイティブ ヨーコ	売上高	2,562	2,715	+153	+6.0%	3,239	3,313	+74	+2.3%	5,801	6,028	+227	+3.9%
		営業利益	108	115	+7	+6.5%	311	361	+50	+16.1%	419	476	+57	+13.6%
6	大和	売上高	10,106	10,722	+616	+6.1%	10,523	10,999	+476	+4.5%	20,629	21,721	+1,092	+5.3%
		営業利益	703	841	+138	+19.6%	786	809	+23	+2.9%	1,489	1,650	+161	+10.8%
7	国内グループ小計 (オンワード樫山+HD除く)	売上高	32,804	34,613	+1,809	+5.5%	33,538	36,676	+3,138	+9.4%	66,342	71,289	+4,947	+7.5%
		営業利益	1,636	2,349	+713	+43.6%	1,581	2,466	+885	+56.0%	3,217	4,815	+1,598	+49.7%
8	ヨーロッパ計	売上高	4,244	4,419	+175	+4.1%	5,716	6,057	+341	+6.0%	9,960	10,476	+516	+5.2%
		営業利益	△ 514	△ 473	+41	↗	378	570	+192	+50.8%	△ 136	97	+233	↗
9	アメリカ計	売上高	759	724	△ 35	△ 4.6%	877	735	△ 142	△ 16.2%	1,636	1,459	△ 177	△ 10.8%
		営業利益	△ 407	△ 206	+201	↗	△ 169	△ 31	+138	↗	△ 576	△ 237	+339	↗
10	アジア計	売上高	2,730	2,743	+13	+0.5%	2,924	3,953	+1,029	+35.2%	5,654	6,696	+1,042	+18.4%
		営業利益	△ 211	△ 131	+80	↗	△ 167	△ 111	+56	↗	△ 378	△ 242	+136	↗
11	海外グループ小計	売上高	7,733	7,886	+153	+2.0%	9,517	10,745	+1,228	+12.9%	17,250	18,631	+1,381	+8.0%
		営業利益	△ 1,132	△ 810	+322	↗	42	428	+386	+919.0%	△ 1,090	△ 382	+708	↗
12	連結合計	売上高	82,166	86,200	+4,034	+4.9%	93,906	98,800	+4,894	+5.2%	176,072	185,000	+8,928	+5.1%
		営業利益	193	1,000	+807	+418.1%	5,021	6,000	+979	+19.5%	5,214	7,000	+1,786	+34.3%

※ グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

2023年度 グループ別業績予想

(百万円)

		上期予想				下期予想				通期予想			
		2022年度	2023年度	増減額	増減率	2022年度	2023年度	増減額	増減率	2022年度	2023年度	増減額	増減率
オンワード +HD 榎山	1 売上高	46,055	48,740	+2,685	+5.8%	55,054	56,439	+1,385	+2.5%	101,109	105,179	+4,070	+4.0%
	2 売上総利益	27,158	28,812	+1,654	+6.1%	32,910	33,991	+1,081	+3.3%	60,068	62,803	+2,735	+4.6%
	(売上比)	(59.0%)	(59.1%)		(+0.1%)	(59.8%)	(60.2%)		(+0.4%)	(59.4%)	(59.7%)		(+0.3%)
	3 販管費	26,826	28,337	+1,511	+5.6%	28,718	29,505	+787	+2.7%	55,544	57,842	+2,298	+4.1%
(売上比)	(58.2%)	(58.1%)		(△ 0.1%)	(52.2%)	(52.3%)		(+0.1%)	(54.9%)	(55.0%)		(+0.1%)	
4 営業利益	332	475	+143	+43.1%	4,192	4,486	+294	+7.0%	4,524	4,961	+437	+9.7%	
(売上比)	(0.7%)	(1.0%)		(+0.3%)	(7.6%)	(7.9%)		(+0.3%)	(4.5%)	(4.7%)		(+0.2%)	
国内グループ 小計 (オンワード榎山EHDを除く)	1 売上高	32,804	34,613	+1,809	+5.5%	33,538	36,676	+3,138	+9.4%	66,342	71,289	+4,947	+7.5%
	2 売上総利益	16,156	17,356	+1,200	+7.4%	16,360	18,436	+2,076	+12.7%	32,516	35,792	+3,276	+10.1%
	(売上比)	(49.3%)	(50.1%)		(+0.7%)	(48.8%)	(50.3%)		(+1.5%)	(49.0%)	(50.2%)		(+0.7%)
	3 販管費	14,520	15,007	+487	+3.4%	14,779	15,970	+1,191	+8.1%	29,299	30,977	+1,678	+5.7%
(売上比)	(44.3%)	(43.4%)		(△ 0.9%)	(44.1%)	(43.5%)		(△ 0.6%)	(44.2%)	(43.5%)		(△ 0.7%)	
4 営業利益	1,636	2,349	+713	+43.6%	1,581	2,466	+885	+56.0%	3,217	4,815	+1,598	+49.7%	
(売上比)	(5.0%)	(6.6%)		(+1.8%)	(4.7%)	(6.7%)		(+2.0%)	(4.8%)	(6.8%)		(+2.0%)	
海外グループ 小計	1 売上高	7,733	7,886	+153	+2.0%	9,517	10,745	+1,228	+12.9%	17,250	18,631	+1,381	+8.0%
	2 売上総利益	3,161	3,296	+135	+4.3%	4,391	4,616	+225	+5.1%	7,552	7,912	+360	+4.8%
	(売上比)	(40.9%)	(41.8%)		(+0.9%)	(46.1%)	(43.0%)		(△ 3.1%)	(43.8%)	(42.5%)		(△ 1.3%)
	3 販管費	4,293	4,106	△ 187	△ 4.4%	4,349	4,188	△ 161	△ 3.7%	8,642	8,294	△ 348	△ 4.0%
(売上比)	(55.5%)	(52.1%)		(△ 3.4%)	(45.7%)	(39.0%)		(△ 6.7%)	(50.1%)	(44.5%)		(△ 5.6%)	
4 営業利益	△ 1,132	△ 810	+322		42	428	+386	+919.0%	△ 1,090	△ 382	+708		
(売上比)	-	-			(0.4%)	(4.0%)		(+3.6%)	-	-			

※ 単純合算



ONWARD

ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は
一切責任を負いませんのでご承知おきください。